

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

平成31年2月6日（水）

第24号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長) 那覇西高等学校長 長濱 雅仁
「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 — ヘレンケラー —

” Once we share goals, we are all brothers and sisters ! ”

率先垂範：子どもは親や教師の「言う通り」にはならないが「する通り」になる。

師弟同行：価値観は言葉以上に、実行している人の姿によって伝えられる。 **以上渡辺和子氏**

◇学校行事、大会結果、イベント等

- 26日（火）那覇西水球部が那覇西青少年特別賞を受賞しました。次年度いよいよ全国制覇！
- 25日（金）県高校新人駅伝大会（今帰仁）で男子2位、女子2位。区間賞2区八木結（1-3）
- 27日（日）QAB紫雲旗争奪柔道大会があり、男子団体2位、女子団体2位の成績でした。
- 第24回全沖縄高校ソフトテニス選手権大会優勝：稲福蓮音（3-6） 2位山田裕也（3-3）
- サッカー新人大会：2日（土）県高校新人サッカー大会は赤間運動場で決勝戦を行い、那覇西が西原高校を1-0で退けて2年連続13度目の優勝を果たしました。新主将の仲程飛雄君（2-9）は「一人一人がきちんと競り合ってくれた」と振り返った。会場には多くの保護者とOBの応援する姿が見られました。16日に熊本行われる九州大会への出場権を獲得しました。
- 自転車鍵掛甲子園（沖縄県警察本部主催）で那覇西高校が2位になりました。（200台以上の部）
- 平成30年度グローバルリーダー育成海外短期研修事業「沖縄県海外雄飛プロジェクト」に本校から嘉数麗華さん（2-7）と仲宗根りなさん（2-8）の2名が選考され、ハワイに派遣されます。
- 7日（木）県庁4階で平成30年度沖縄県児童生徒等表彰被表彰者（スポーツ活動部門）に宮城実来さん（3-3）が選出され、表彰を受けることになりました。おめでとうございます！
- 校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか？
- 1月25日（金）卒業献血が実施され、130名の受付があり99名が献血しました。（県内1位）
毎年の献血、地域ボランティア等の活動が評価され、平成30年度沖縄県青少年赤十字功労賞を受賞。
- 3月に卒業式を迎える3年生が5日（火）教室のワックス作業を行いました。「立つ鳥跡を濁さず」です。また、6日からは卒業式に向けての集会（歌の練習含む）も行われます。感動の式に！！
- 6日～7日高校入試の一般願書受付が始まります。ちなみに昨年は本校が志願者数が県で1位でした。

沖縄県健康教育研究大会における校長挨拶（浦添市てだこホール）2 / 1

ただ今、ご紹介にあずかりました那覇西高校校長の長濱です。

受賞者を代表してのあいさつということですが、受賞者の皆様の心のうち、「思い」を十分に推し量ることはできませんので私なりの思いをお伝えしたいと思います。よろしくお願いいたします。

昨今の学校現場といえますとスマホ依存やスマホによるいじめの問題、アレルギー、発達障害、深夜徘徊、不審者、不登校、薬物の問題等、山積する課題に先生方も鋭意取り組んでおりますが、学校だけで対応することはできないということ、皆様も十分に承知していることと思います。

かつて知念高校校長であり、復帰運動の父と呼ばれた屋良朝苗先生は、当時の学校現場の閉塞性、社会からの批判について、「教師と保護者、教師と生徒との間に魂の触れ合いが希薄になってきてはいまいか。魂の触れ合いを取り戻すことが最も大切ではないか」と話されております。

また、京セラの稲盛和夫氏も「生きる目的は心・魂を磨くことだ」と「魂の言葉100」という著書の中で表しています。

私達は学校三師はもとより、栄養職員、地域ボランティア等の力をお借りしながら連携をより深め、沖縄の未来を担う子供たち一人ひとりの魂に寄り添い、「地元を愛し、誇りに思い、世界に羽ばたく」人材の育成に今後も積極的に関わっていくことを会場の皆様方にお伝えし、受賞者を代表しての挨拶といたします。本日は栄えある賞をいただき、誠にありがとうございました。

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。（能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏）